J.SPRINGS

取扱説明書
INSTRUCTION

クロノグラフ

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくご愛用くださいますようお願い申しあげます。なお、この取扱説明書はお手もとに保存し、必要に応じてご覧ください。

⚠警告	取扱を誤った場合に、重傷を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示しています。
⚠注意	取扱を誤った場合に、軽傷を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示しています。

■特長

キャリバーVDシリーズは、時刻の他にストップウオッチを備えたアナログクオーツ時計です。

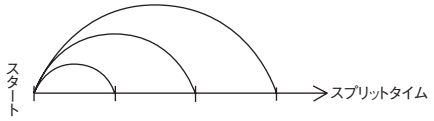
●時刻

時・分・秒の他、VD54は24時間制、VD57、67はカレンダーを表示します。

●ストップウオッチ

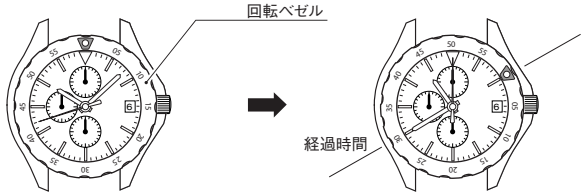
VD55、57は1/10秒単位、VD67は1/5秒単位、VD54は1秒単位の計測ができる60分計です。
また、スプリットタイムも計測できます。

※スプリットタイムとは、スタートからある区間までの途中経過時間をさします。



■回転ベゼルの使いかた

下図は、10時10分計測開始(▽位置)後、30分経過したことを示しています。



●経過時間の測定

回転ベゼルを動かし、▽マークを分針に合わせてください。ある時間が経過した後に、分針の示す回転ベゼル上の目盛を読めば、その時までの経過時間がわかります。

※回転ベゼルは、時計と逆まわりしか回転しません。また、クリック装置が付いていますので、目盛のセットがしやすいと同時にショックなどで不用意に回転することを防ぎます。

■修理について

①修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合がありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
②修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。
③修理の内容によっては、修理代が標準小売価格を上まわる場合があります。その他、不明な点がありましたら、お買い上げ店へお問い合わせください。

■ルミネッセンスについてのご注意とお願い

ルミネッセンスは放射性物質等を全く含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)物質を使用しています。
ルミネッセンスは太陽光や照明器具の明りを短時間(約10分間:500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約3～5時間)光を放つ夜光です。なお、蓄えた光を発光させていますので、輝度(明るさ)は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生ずることがあります。

〈照度データ〉　(目安値)

太陽光	〔晴天〕100,000ルクス	照明(白色蛍光灯40Wの下で)
	〔曇天〕10,000ルクス	〔1m〕1,000ルクス
屋内(昼間窓際)	〔晴天〕3,000ルクス以上	〔3m〕500ルクス
	〔曇天〕1,000～3,000ルクス	(通常室内レベル)
	〔雨天〕1,000ルクス以下	〔4m〕250ルクス

■製品仕様

1.水晶振動数　：32,768 Hz(Hz=1秒間の振動数)
2.精度　：平均月差±20秒(気温5℃～35℃において腕につけた場合)
3.作動温度範囲：－5℃～＋50℃
4.表示内容　：時刻…時／分／秒／以上共通、この他にVD54は24時間表示、VD57、67はカレンダー(日)表示
　ストップウオッチ…分／秒／他にVD55、57は1/10秒表示、VD67は1/5秒表示
5.駆動方式　：ステップモーター式　3個(VD54は2個)
6.使用電池　：小型酸化銀電池(SR920SW)1個
7.電子回路　：C-MOS-LSI1個

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

■電池についてのお願いとご注意

●電池寿命

この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約2年間作動します。ただし、ストップウオッチを1日に60分使用することを基準としていますので、それ以上使用した場合は上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れる場合があります。

●最初の電池

この時計にセットされている電池は、工場出荷時に組み込まれているモニター電池ですので、電池寿命に満たないうちに容量が切れることがありますのでご了承ください。

●電池交換

①電池交換はお早めに、最寄りの時計販売店で行ってください。
②電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因となりますので、お早めに交換してください。
③電池交換は、保証期間内でも有料となります。

⚠警告

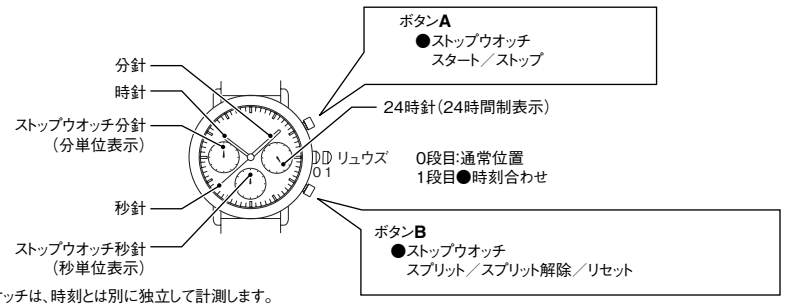
- この電池は充電式ではないので、絶対に充電しないでください。誤って充電した場合、電池の破裂、液漏れ、破損の危険があります。
- 裏ぶたを故意に開け、電池を取り出さないでください。
- やむを得ず時計から電池を取り出した場合は、直ちに幼児の届かぬ場所に保管してください。
- 幼児が万一飲み込んだ場合は、危険ですので直ちに医師にご相談ください。

⚠注意

- 常温(5℃～35℃)から外れた環境で長時間保存しないでください。電池寿命が短くなったり、電池漏液による故障などの原因となる場合があります。

■VD54の使いかた

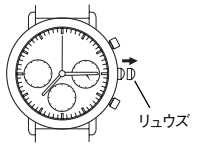
●各部の名称とはたらき



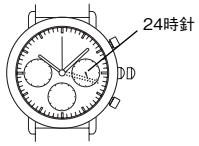
※ストップウオッチは、時刻とは別に独立して計測します。

●時刻の合わせかた

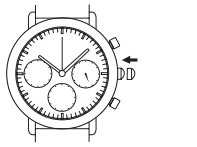
※時刻合わせの前に、ストップウオッチ秒・分針が0位置（12時位置）に合っているか確認してください。もし、0位置からずれているときは、「**●ストップウオッチ秒・分針の0位置の合わせかた**」をご覧ください。
※時刻を合わせるときは、必ずストップウオッチを止めてから行ってください。



①リュウズを引きます。
秒針は止まります。
秒針は12時の位置に止めてください。
※リュウズが引き出せない（ねじロック式リュウズ）モデルは、リュウズを左に回してねじをゆるめ、リュウズを引くと秒針は止まります。
※ボタンを押すとストップウオッチ秒針がずれますのでご注意ください。
（詳しくは「**●ストップウオッチ秒・分針の0位置の合わせかた**」をご覧ください。）



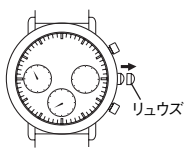
②リュウズを回して針を合わせます。
24時針は、時針の動きに合わせて回ります。
午前／午後に注意して合わせてください。
※クオーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻し合わせてください。



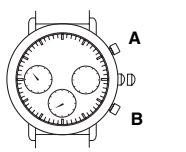
③時報と同時にリュウズを押し込みます。
※ねじロック式リュウズのモデルは、リュウズを押しつけながら右に止まるところまでねじ込んでください。
※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

●ストップウオッチ秒・分針の0位置の合わせかた

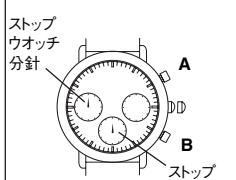
電池を交換した後は、時計内のICメモリー情報とストップウオッチ秒・分針の表示位置が一致しなくなりますので、次の手順にそって合わせてください。
また、ストップウオッチが正常に働かないなど異常がみられたときも、同様に行ってください。



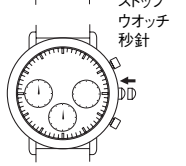
①リュウズを引きます。



②ボタン**A**と**B**を同時に約2秒間押して、ボタンを離します。
・ストップウオッチ秒針が回り止まります。



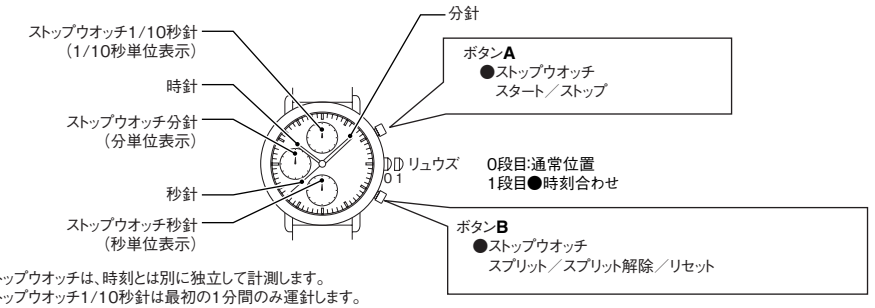
③ボタン**A**または**B**を押してストップウオッチ秒・分針を0位置へ合わせます。
・ ボタン**A**を押すごとに、針は左回りに送ります。
・ ボタン**B**を押すごとに、針は右回りに送ります。
※ストップウオッチ分針は、ストップウオッチ秒針の動きに合わせて回ります。
※早送り修正をするときは、ボタンを押し続けます。



④リュウズを回し、時刻を合わせた後、リュウズを押し込みます。
（詳しくは「**●時刻の合わせかた**」をご覧ください。）

■VD55の使いかた

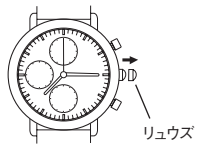
●各部の名称とはたらき



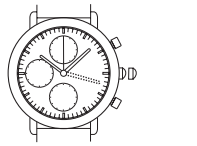
※ストップウオッチは、時刻とは別に独立して計測します。
※ストップウオッチ1/10秒針は最初の1分間のみ運針します。
1分以降はストップしたときのみ1/10秒単位を表示します。

●時刻の合わせかた

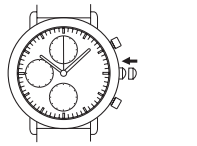
※時刻合わせの前に、ストップウオッチ1/10秒・秒・分針が0位置（12時位置）に合っているか確認してください。もし、0位置からずれているときは、「**●ストップウオッチ1/10秒・秒・分針の0位置の合わせかた**」をご覧ください。
※時刻を合わせるときは、必ずストップウオッチを止めてから行ってください。



①リュウズを引きます。
秒針は止まります。
秒針は12時の位置に止めてください。
※リュウズが引き出せない（ねじロック式リュウズ）モデルは、リュウズを左に回してねじをゆるめ、リュウズを引くと秒針は止まります。
※ボタンを押すとストップウオッチ秒針がずれますのでご注意ください。
（詳しくは「**●ストップウオッチ1/10秒・秒・分針の0位置の合わせかた**」をご覧ください。）



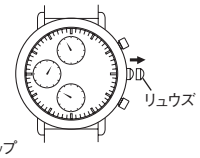
②リュウズを回して針を合わせます。
※クオーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻し合わせてください。



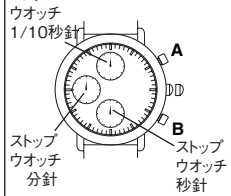
③時報と同時にリュウズを押し込みます。
※ねじロック式リュウズのモデルは、リュウズを押しつけながら右に止まるところまでねじ込んでください。
※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

●ストップウオッチ1/10秒・秒・分針の0位置の合わせかた

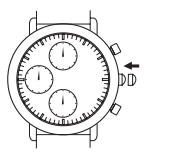
電池を交換した後は、時計内のICメモリー情報とストップウオッチ1/10秒・秒・分針の表示位置が一致しなくなりますので、次の手順にそって合わせてください。
また、ストップウオッチが正常に働かないなど異常がみられたときも、同様に行ってください。



①リュウズを引きます。



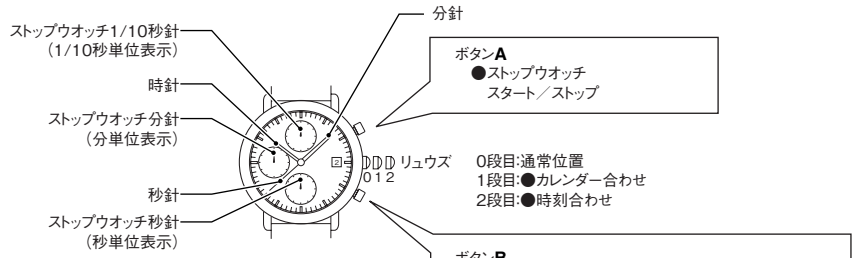
②ボタン**A**または**B**を押してストップウオッチ1/10秒・秒・分針を0位置へ合わせます。
・ ボタン**A**でストップウオッチ1/10秒針を合わせます。
・ ボタン**B**でストップウオッチ秒・分針を合わせます。
※ストップウオッチ分針は、ストップウオッチ秒針の動きに合わせて回ります。
※早送り修正をするときは、ボタンを押し続けます。



③リュウズを回し、時刻を合わせた後、リュウズを押し込みます。
（詳しくは「**●時刻の合わせかた**」をご覧ください。）

■VD57の使いかた

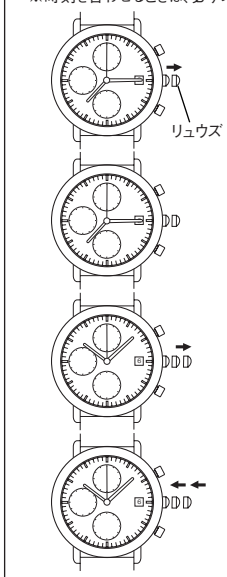
●各部の名称とはたらき



※ストップウオッチは、時刻とは別に独立して計測します。
※ストップウオッチ1/10秒針は最初の1分間のみ運針します。
1分以降はストップしたときのみ1/10秒単位を表示します。

●時刻・日付の合わせかた

※時刻合わせの前に、ストップウオッチ1/10秒・秒・分針が0位置（12時位置）に合っているか確認してください。もし、0位置からずれているときは、**「●ストップウオッチ1/10秒・秒・分針の0位置の合わせかた」**をご覧ください。
※時刻を合わせるときは、必ずストップウオッチを止めてから行ってください。



①リュウズを1段引きます。
※リュウズが引き出せない（ねじロック式リュウズ）モデルは、リュウズを左に回してねじをゆるめ、リュウズを1段引きます。
※この時計のリュウズは2段引くことができます。

②リュウズを回して前の日の日付に合わせます。
※午後9時～午前1時までは日付を合わせないでください。この時間帯に日付を合わせますと、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。

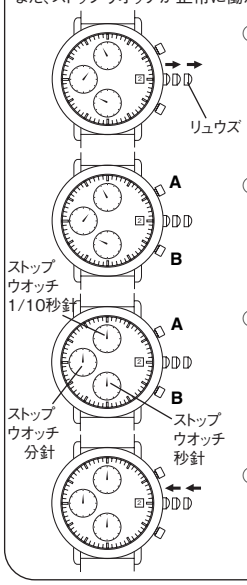
③リュウズを2段目まで引き出して今日の日付になるまで回し針を現在時刻に合わせます。
（午前・午後を間違えないように合わせてください。）
※秒針は12時の位置に止めてください。
※ボタンを押すとストップウオッチ秒針がずれますのでご注意ください。
（詳しくは「**●ストップウオッチ1/10秒・秒・分針の0位置の合わせかた**」をご覧ください。）
※クオーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻し合わせてください。

④時報と同時にリュウズを押し込みます。
※ねじロック式リュウズのモデルは、リュウズを押しつけながら右に止まるところまでねじ込んでください。
※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

●月末の日付修正について
2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。
【小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合】
①「1日」ではなく「31日」が表示されています。リュウズを1段引きます。
②リュウズを回して日付を「1日」に合わせたのち、リュウズを押し込んでください。

●ストップウオッチ1/10秒・秒・分針の0位置の合わせかた

電池を交換した後は、時計内のICメモリー情報とストップウオッチ1/10・秒・秒・分針の表示位置が一致しなくなりますので、次の手順にそって合わせてください。
また、ストップウオッチが正常に働かないなど異常がみられたときも、同様に行ってください。



①リュウズを2段引きます。

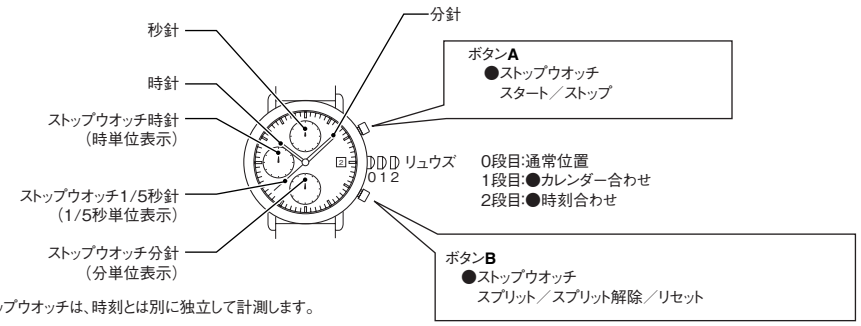
②ボタン**A**と**B**を同時に約2秒間押して、ボタンを離します。
・ ストップウオッチ秒針が回り止まります。

③ボタン**A**または**B**を押してストップウオッチ1/10秒・秒・分針を0位置へ合わせます。
・ ボタン**A**でストップウオッチ1/10秒針を合わせます。
・ ボタン**B**でストップウオッチ秒・分針を合わせます。
※ストップウオッチ分針は、ストップウオッチ秒針の動きに合わせて回ります。
※早送り修正をするときは、ボタンを押し続けます。

④リュウズを回し、時刻を合わせた後、リュウズを押し込みます。
（詳しくは「**●時刻・日付の合わせかた**」をご覧ください。）

■VD67の使いかた

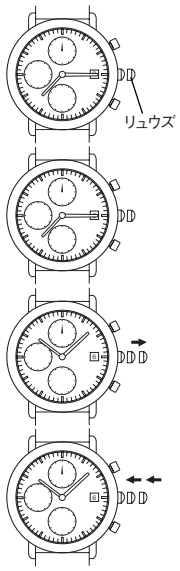
●各部の名称とはたらき



※ストップウオッチは、時刻とは別に独立して計測します。

●時刻・日付の合わせかた

※時刻合わせの前に、ストップウオッチ1/5秒・秒・分針が0位置（12時位置）に合っているか確認してください。もし、0位置からずれているときは、**「●ストップウオッチ1/5秒・分・時針の0位置の合わせかた」**をご覧ください。
※時刻を合わせるときは、必ずストップウオッチを止めてから行ってください。



①リュウズを1段引きます。
※リュウズが引き出せない（ねじロック式リュウズ）モデルは、リュウズを左に回してねじをゆるめ、リュウズを1段引きます。
※この時計のリュウズは2段引くことができます。

②リュウズを回して前の日の日付に合わせます。
※午後9時～午前1時までは日付を合わせないでください。この時間帯に日付を合わせますと、翌日になっても日付が変わらないことがありますので、この時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。

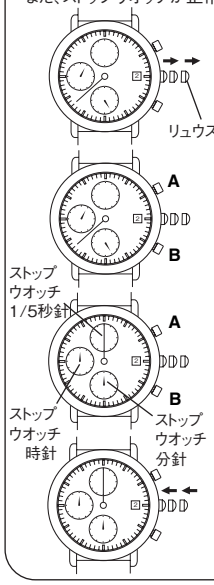
③リュウズを2段目まで引き出して今日の日付になるまで回し針を現在時刻に合わせます。
（午前・午後を間違えないように合わせてください。）
※秒針は12時の位置に止めてください。
※ボタンを押すとストップウオッチ秒針がずれますのでご注意ください。
（詳しくは「**●ストップウオッチ1/5秒・分・時針の0位置の合わせかた**」をご覧ください。）
※クオーツは機械時計と機構が異なりますので、正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻し合わせてください。

④時報と同時にリュウズを押し込みます。
※ねじロック式リュウズのモデルは、リュウズを押しつけながら右に止まるところまでねじ込んでください。
※時刻合わせは、電話の時報サービスTEL.117が便利です。

●月末の日付修正について
2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。
【小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合】
①「1日」ではなく「31日」が表示されています。リュウズを1段引きます。
②リュウズを回して日付を「1日」に合わせたのち、リュウズを押し込んでください。

●ストップウオッチ1/5秒・分・時針の0位置の合わせかた

電池を交換した後は、時計内のICメモリー情報とストップウオッチ1/5秒・分・時針の表示位置が一致しなくなりますので、次の手順にそって合わせてください。
また、ストップウオッチが正常に働かないなど異常がみられたときも、同様に行ってください。



①リュウズを2段引きます。

②ボタン**A**と**B**を同時に約2秒間押して、ボタンを離します。
・ ストップウオッチ秒針が回り止まります。

③ボタン**A**または**B**を押してストップウオッチ1/5秒・分・時針を0位置へ合わせます。
・ ボタン**A**でストップウオッチ1/5秒針を合わせます。
・ ボタン**B**でストップウオッチ分・時針を合わせます。
※ストップウオッチ分針は、ストップウオッチ秒針の動きに合わせて回ります。
※早送り修正をするときは、ボタンを押し続けます。

④リュウズを回し、時刻を合わせた後、リュウズを押し込みます。
（詳しくは「**●時刻・日付の合わせかた**」をご覧ください。）

■使用上の注意とお手入れの方法

●装着・携行等でご注意いただきたいこと

⚠警告

- 携行時の転倒や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬけがを負う場合がありますのでご注意ください。
- 乳幼児を抱いたりする場合は、時計との接触でけがを負ったり、アレルギーによるかぶれを起こしたりする場合がありますのでご注意ください。
- 提げ時計やペンダント時計の場合は、ひもやチェーンによって大切な衣類や手、首などの身体を傷つけることがありますのでご注意ください。
- 装着状態の動作によっては、時計が大切な器物と接触損傷したり、時計の故障となる可能性があるので取り扱いには十分ご注意ください。

⚠注意

- バンド中留部の構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。

●日常のお手入れ

⚠注意

- ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくと錆で衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因となりますので常に清潔にしてご使用ください。
- 時計を外した時は、柔らかい布で汗や水分を拭き取るだけで、ケース・バンド・パッキンなどの寿命が違ってきます。
- 化学薬品（ベンジン、シンナー、アルコール類、洗剤等の有機溶剤）で洗うと、化学変化で時計が劣化することがありますので、ご注意ください。

〈革バンド〉
柔らかい布などで水分を吸い取るように軽く拭いてください。こするように拭くと色落ちしたり、ツヤがなくなったりする場合があります。

〈金属バンド〉
柔らかい歯ブラシなどを使い、部分水洗いなどのお手入れをお願いします。洗浄後は吸湿性の良い柔らかい布で水分を十分にふき取ってください。非防水時計の場合は、時計本体に水分がかからないようにご注意ください。

〈軟質プラ製バンド〉
蛍光灯や太陽光の下に長時間放置したり、汚れが染み込んだりすることによって、色あせ・変色や硬くなったり切れたりする場合があります。特に、半透明のウレタン製のバンドは、変色が目立ちやすく、使用条件によっては数ヶ月で起こり始める場合があります。湿気の多い場所に保管したり、汗や水に濡れたまま放置しておくと、早く変化することがありますので、汚れた時は、石けん水で洗ってください。バンドは化学合成製品ですので、溶剤によっては変質することがありますのでご注意ください。

●かぶれやアレルギーについて

⚠注意

- バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- かぶれやすい体質の人や、体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- かぶれの原因として考えられるのは、
  ①金属・皮革に対するアレルギー
  ②時計本体やバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗などです。
- 万一肌などに異常が生じた場合は、ただちに使用を中止して、医師にご相談ください。

●防水性能

時計の文字板または裏ぶたにある防水性能表示をご確認の上、使用可能範囲にそって正しくご使用ください。

時計の防水表示	使用例 / 防水の水準		洗顔や雨など一時的にかかる水滴	水泳や水仕事など長時間水にふれる場合	空気ボンベを使用しないスキンダイビング	空気ボンベを使用する本格的な潜水およびヘリウムガスを使用する潜水（飽和潜水）	水滴がついた状態でのボタンの操作	水滴がついた状態でのリュウズの操作
WATER RESISTANTの表示のない時計	非防水		×	×	×	×	×	×
WATER RESISTANTの表示のある時計	日常生活用防水		○	×	×	×	×	×
WATER RESISTANT 5・10・15・20ATMの表示のある時計	日常生活用強化防水	5気圧防水	○	○	×	×	○	×
		10・15・20気圧防水	○	○	○	×	○	×

⚠警告

- 日常生活用強化防水（10・15・20気圧防水）の時計は、飽和潜水や空気潜水には絶対に使用しないでください。
- 日常生活用強化防水（5気圧防水）の時計は、素潜りを含め、すべての潜水行為には絶対に使用しないでください。
- 日常生活用防水（3気圧）の時計は、水の中に入れてしまうような環境では絶対に使用しないでください。

⚠注意

- 日常生活用強化防水の時計を海水等の環境下でのご使用後は、なるべく早く塩分などを洗浄しください。錆の原因となる場合があります。水道蛇口下での洗浄は、過度な水圧が加わり、防水不良の原因となる場合がありますので、容器内洗浄で過度な水圧が加わらぬように注意してください。
- 革バンドは材質の特性上、水にぬれると耐久性に影響が出る場合があります。

●保管について

時計を使用しない時は、次の事項が、時計の破損や劣化、故障の原因等となる場合がありますのでご注意ください。
①「−5℃〜+50℃からはずれた温度」環境下では、性能が劣化したり、停止する場合があります。
②直射日光の当たるところ、高温になるところ、低温にあるところに長時間置くと時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
③磁気の影響（テレビ、スピーカ、携帯電話、磁気ネックレス等）があるところに放置すると、時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
④強い振動のあるところに放置すると、破損や時刻精度の遅れや進みの原因となる場合があります。
⑤薬品の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置すると時計の劣化や破損の原因となります。
薬品例）ベンジン、シンナー、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ洗剤、接着剤、水銀、ヨウ素系消毒液、防虫剤など
⑥温泉入浴、殺虫剤の入った収納場所など、特殊な環境に放置すると時計の劣化の原因となる場合があります。
⑦長時間時計を外しておく時は、箱などに入れて、風通しのよい場所に保管することをお勧めします。

●定期点検について

- ながく安心してご愛用いただくために、2〜3年に1度程度の分解掃除による点検調整をおすすめします。
  ご使用状況によっては、機械部の保油状態が損なわれていたり、油の汚れなどによって部品が摩耗し、時計の進み、遅れが大きくなることがあります。また、パッキン等の部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。分解掃除による点検調整をお買い上げ店にご依頼ください。
- 電池交換などの部品交換の際は、「弊社指定の純正部品」とご指定ください。
- 定期点検の際は、パッキンやバネ棒の新品交換も合わせてご依頼ください。